

木津川市の地域福祉についての市民アンケート調査結果【概要】

I 調査の目的と実施概要

○本調査は、今後の地域福祉のあり方の検討や関連する取組のさらなる推進に向け、市民の皆様のご意見等をおうかがいし、次期地域福祉計画・地域福祉活動計画の基礎資料として活用することを目的に実施。

◆実施概要

調査対象	調査実施時期	配布・回収方式
市内在住18歳以上の市民	令和6年1月～2月14日	郵送配布・回収

◆配布・回収状況

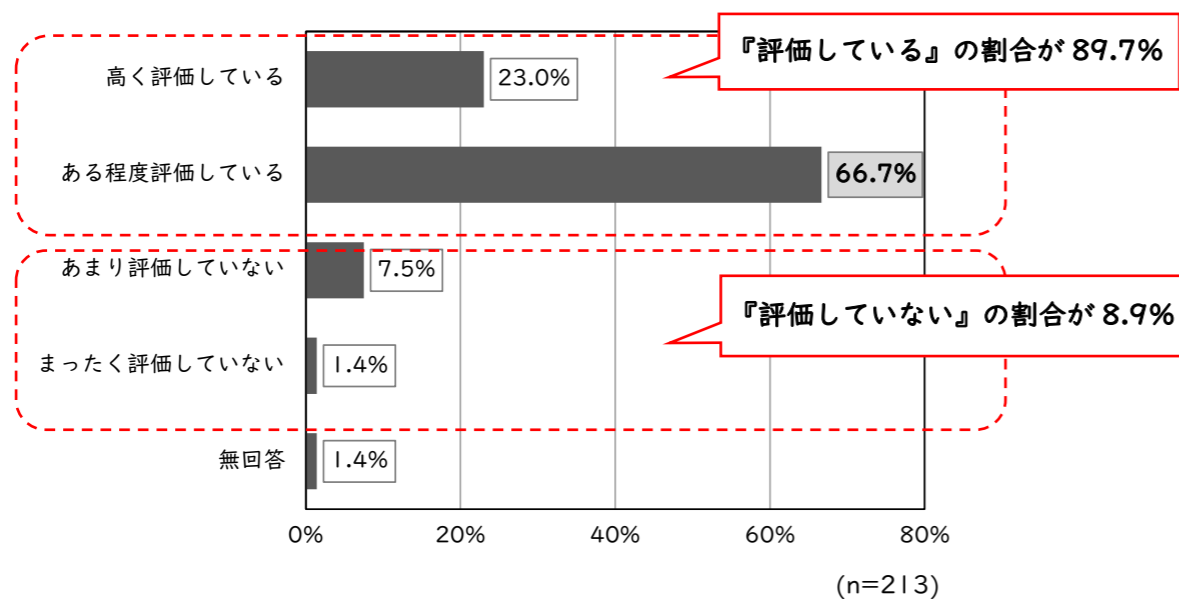
配布数	回収数	総回収率	(参考) 前回回収率
2,000票	684票	34.2%	29.6%

II 調査結果

I 社会福祉協議会について

○木津川市社会福祉協議会の認知状況で、「取組を知っている」が31.1%と前回調査から6.9ポイント増加。
○木津川市社会福祉協議会の取組の評価で、「高く評価している」「ある程度評価している」を合わせた『評価している』の割合が89.7%。

■木津川市社会福祉協議会の取組の評価

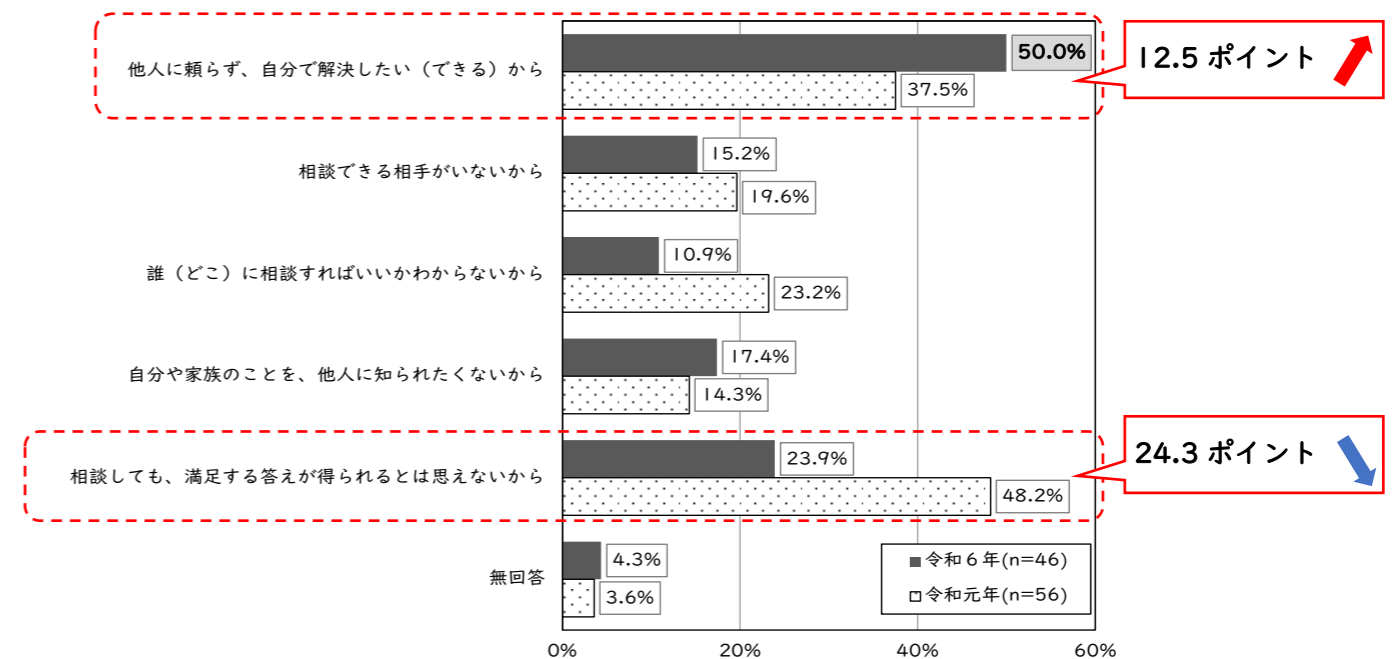


○木津川市社会福祉協議会に特に期待する活動で、「必要な時に福祉や介護のサービスが利用できるように支援してほしい」が52.9%と最も割合が高い。

2 困り事や福祉との関わりについて

○悩みや困り事の主な相談先で「市役所」は24.4%と、前回調査から12.4ポイント増加。「相談しない」「相談できない」は、前回調査から減少しているものの合わせて6.7%。
○相談しない、相談できない理由は、「他人に頼らず、自分で解決したい(できる)から」が50.0%で前年に比べ12.5ポイント増加している一方で、「相談しても、満足する答えが得られるとは思えないから」は24.3ポイント減少。

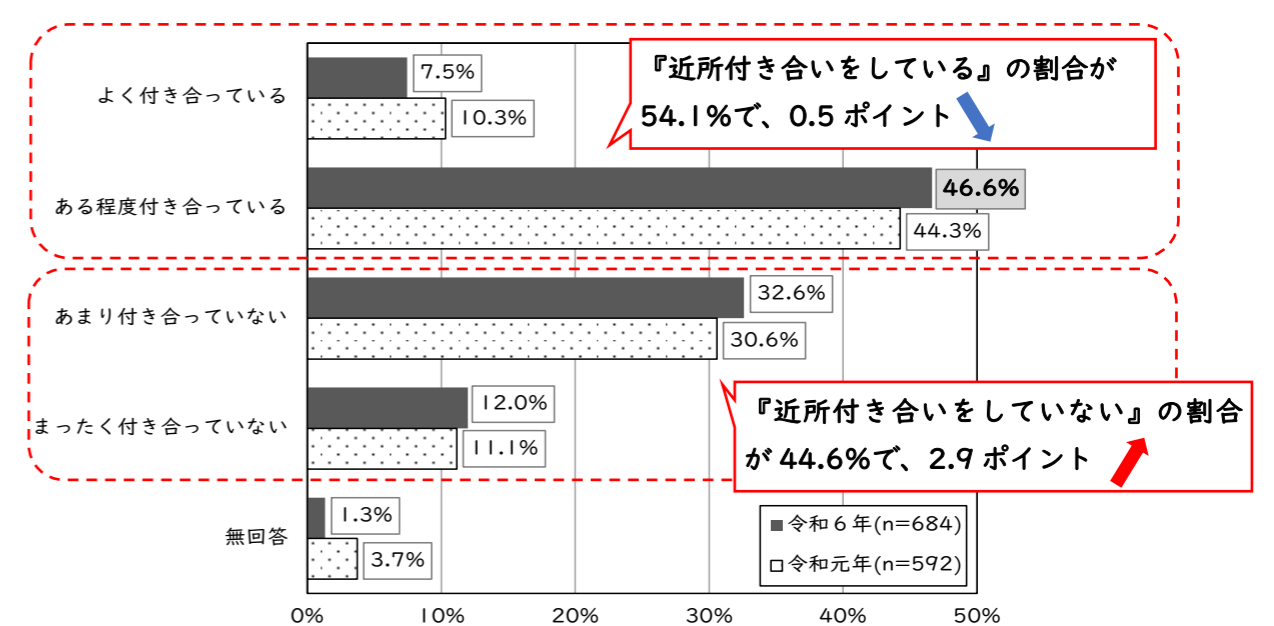
■悩みや困りごとを相談しない・できない理由



3 地域のつながりについて

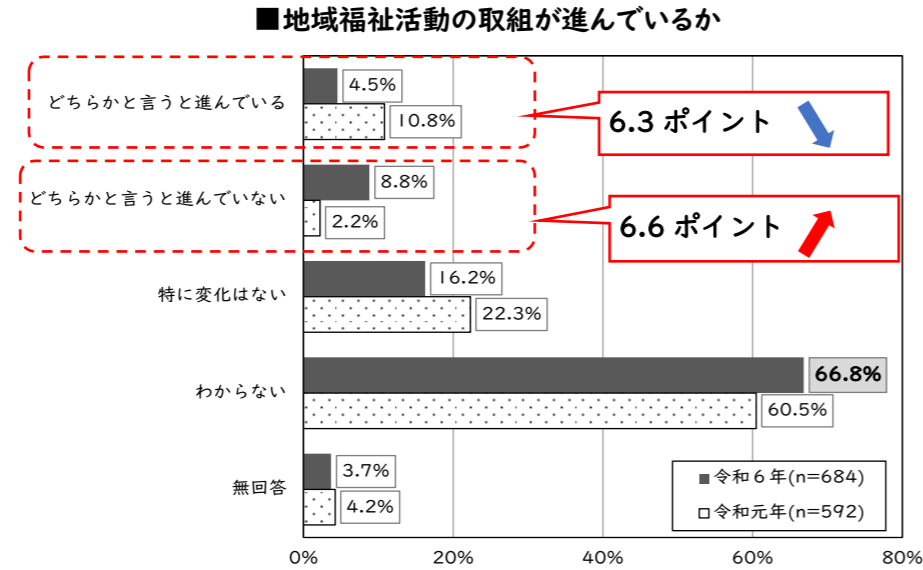
○新型コロナウイルス感染症に伴う生活の変化で“地域の人との関係・交流”が「悪化した」の割合が22.5%。
○近所付き合いの程度で「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」を合わせた『近所付き合いをしている』の割合が54.1%で、前回調査から0.5ポイント減少。

■近所付き合いの程度



4 地域福祉活動について

- 参加している地域活動・社会貢献活動で「特に参加している活動はない」が 61.4%と最も割合が高く、前回調査から 8.9 ポイント増加。
- 地域福祉活動の取組が進んでいるかは、「どちらかと言うと進んでいる」が 4.5%と、前回調査から 6.3 ポイント減少している一方で、「どちらかと言うと進んでいない」が 8.8%と、前回調査から 6.6 ポイント増加。

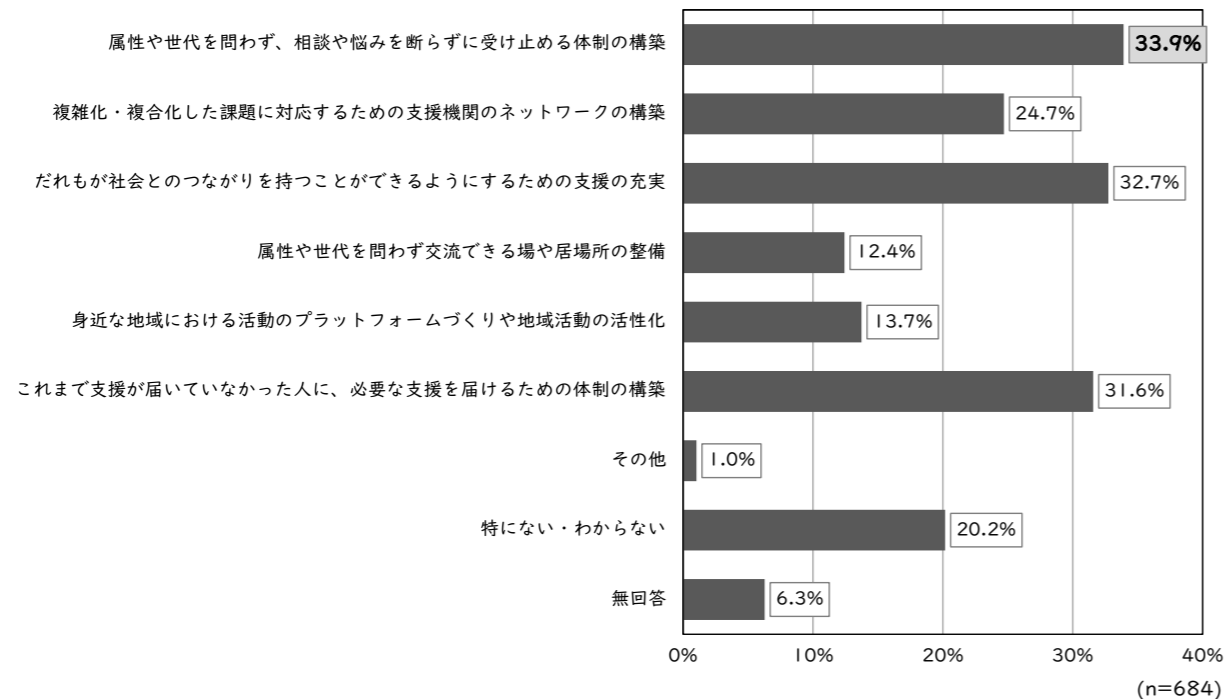


- 高齢者も含めた地域活動の継続に向けて、特に力を入れるべき取組は、「健康づくり・介護予防につながるような、地域福祉活動の実施の検討」の割合が 26.6%と最も高い。

5 重層的支援体制整備について

- 重層的支援体制整備事業の推進に向けて、特に力を入れるべき取組は、「属性や世代を問わず、相談や悩みを断らずに受け止める体制の構築」が 33.9%で最も割合が高く、次いで「だれもが社会とのつながりを持つことができるようにするための支援の充実」が 32.7%、「これまで支援が届いていなかった人に、必要な支援を届けるための体制の構築」が 31.6%。

■重層的支援体制整備事業の推進に向けて、特に力を入れるべき取組



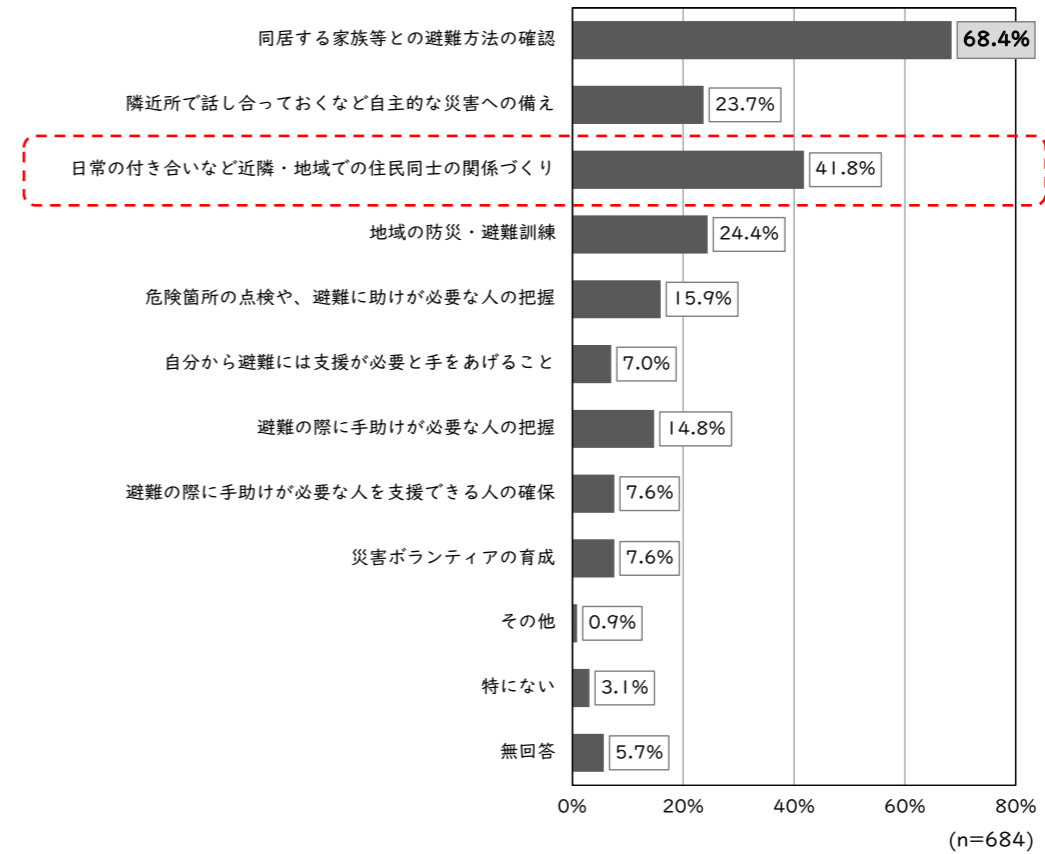
6 情報発信について

- 健康や福祉に関してほしい情報について、「特にほしい情報はない」が 18.7%と、前回調査から 5.2 ポイント増加。
- 地域福祉活動を広げるために、特に大切なことは、「自分に合う活動や参加の方法を探せる「活動情報」の発信」が 35.4%と最も割合が高い。

7 防災について

- 災害時に頼りにする人について、「頼りにする人がいない」が 1.5%。
- 災害時に地域で助け合うために重要なことで、「日常の付き合いなど近隣・地域での住民同士の関係づくり」が 41.8%。

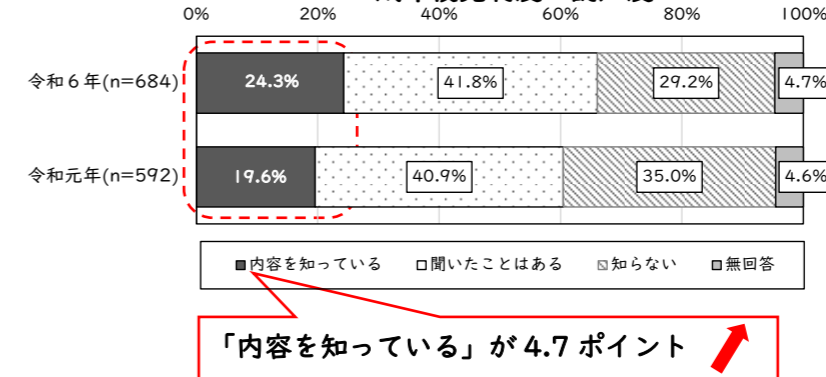
■災害時に地域で助け合うために重要なこと



8 権利擁護について

- 権利擁護に関する事業・制度の認知状況で、「①日常生活自立支援事業」は「知らない」が 49.4%、「②成年後見制度」は「知らない」が 29.2% (前回調査から 4.7 ポイント増加)。

■成年後見制度の認知度



木津川市の地域福祉関連団体の意識調査結果【概要】

I. 調査の目的と実施概要

○本調査は、各団体の活動状況を踏まえた木津川市の「地域福祉」に関するご意見等をおうかがいし、次期地域福祉計画・地域福祉活動計画に反映することを目的に実施。

◆実施概要

調査対象	調査実施時期	配布・回収方式
市内で地域福祉に関連する活動を行っている団体	令和6年1月～2月7日	社会福祉協議会の窓口における配布・回収 (web回答併用)

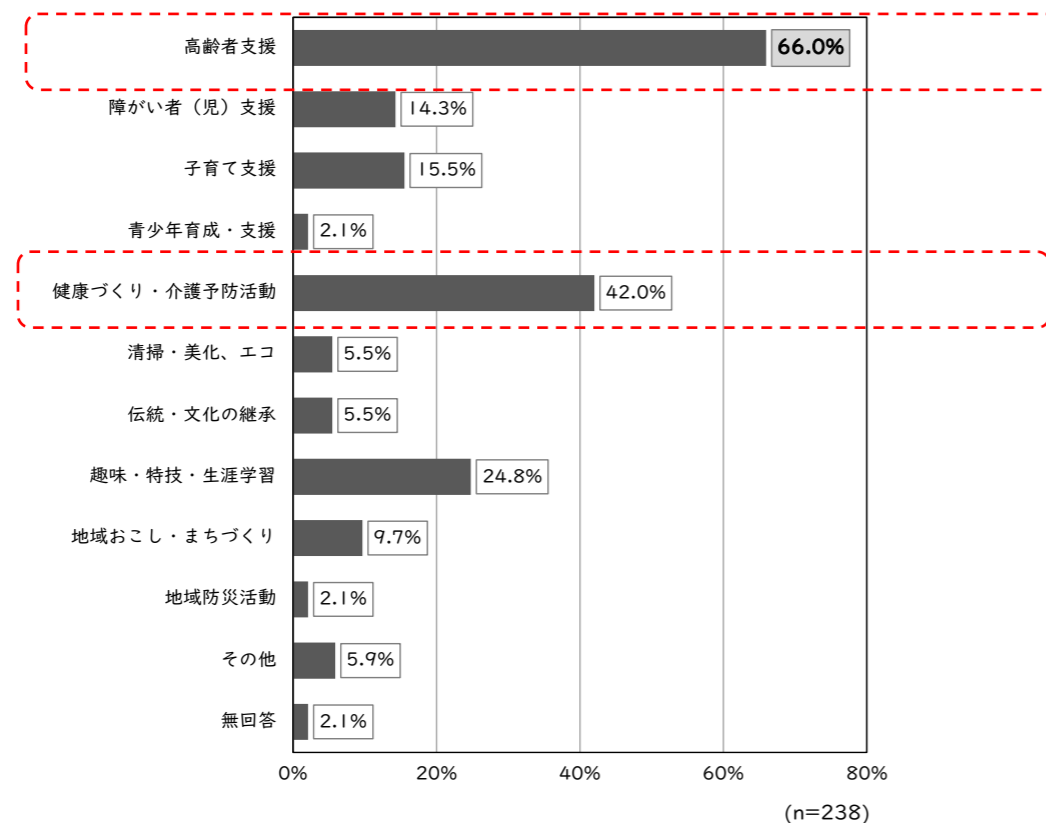
◆配布・回収状況

配布数	回収数	総回収率
444票	238票	53.6%

II 調査結果

1 団体として取り組んでいる地域活動の分野 (MA)

○「高齢者支援」と「健康づくり・介護予防活動」の割合が全般的に高い。

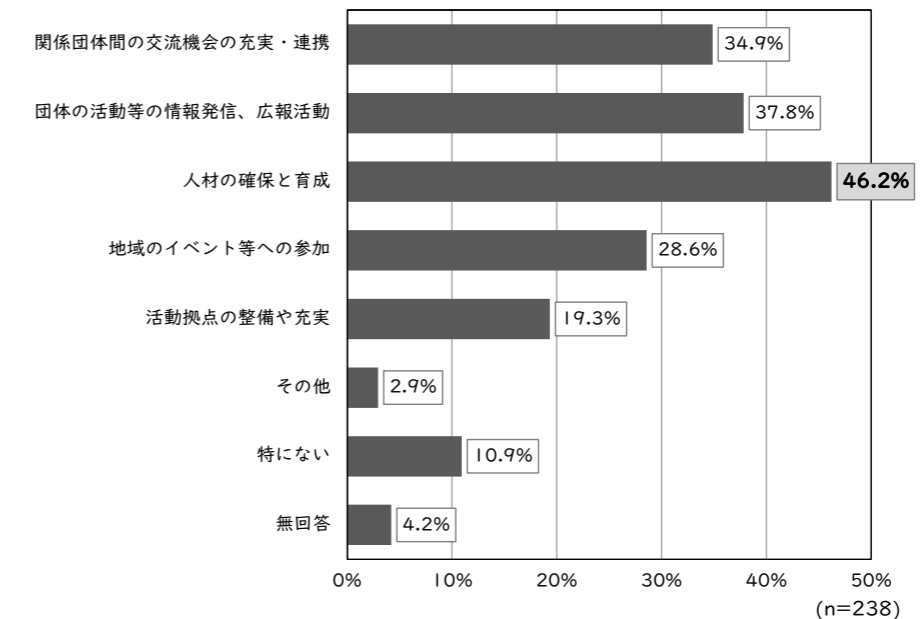


2 団体が地域活動を行う上での課題 (MA)

○「活動メンバー(担い手)のなり手がいない」が38.2%で最も高く、次いで「メンバーの高齢化により活動の継続が難しい」が27.7%となっており、活動の「担い手」「人材」に関する課題の割合が全般的に高い。

3 今後、力を入れて取り組んでいきたいこと (MA)

○活動上の課題に対応する形で「人材の確保と育成」の割合が最も高い。



4 活動の活性化に向けて、市や社会福祉協議会からあると良い支援 (MA)

○「活動のための助成金の充実」が41.2%で最も高い。

5 地域福祉を推進していくために木津川市全体として必要な取組 (MA)

○活動上の課題や力を入れて取り組みたいことに対応する形で「自治会や地域住民が主体的に活動できる仕組みづくり」の割合が最も高い。

